

令和3年度
普及指導年度計画

令和3年4月

柏崎農業普及指導センター
(柏崎地域振興局農業振興部)

目 次

第1	推進方針	
1	柏崎・刈羽地域の農業ビジョン	1
2	令和2年度推進方針	2
第2	課題別活動方針と指導計画	
1	農業を担う人材の確保・育成（人づくり）	3
	(1) 人材の確保・育成	
	(2) 農地の集積・集約化等による効率的な生産体制の構築	
2	担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）	5
	(1) 新たな米政策に対応した新潟米等の水田農業の確立	
	(2) 需要に応えられる園芸生産の拡大	
	(3) 収益性の高い畜産経営の育成	
	(4) 経営の多角化	
	(5) 県産農産物のブランド力の向上	
	(6) 環境と調和した農業生産と安全・安心な農産物の提供	
3	中山間地域等の農業の維持（仕組みづくり）	8
	(1) 地域資源を活かした中山間地域等の振興と活性化	
	(2) 野生鳥獣による農作物の被害防止	
第3	重点課題	9
第4	課題体系及び指導対象	13
第5	活動体制及び業務分担表	14
第6	企画調整業務計画	17
第7	普及員が実施する調査研究の課題一覧表	18
第8	新任普及員が実施する課題解決活動の課題一覧表	18
第9	普及指導活動として実施する実証ほ及び普及が関わる実証ほ一覧	18

第1 推進方針（総論）

1 柏崎・刈羽地域の農業ビジョン

～意欲ある農業者が所得確保できる持続的な農業の発展～

農業従事者の減少、高齢化等により人手不足や農業生産力の低下が懸念される状況において、農業の担い手による柏崎・刈羽地域で暮らし稼げる農業の実現を目指す。

そのため、就農の受皿となる優れた農業法人等の育成に取り組み、農業人材の確保・育成を図る。

また、ほ場整備を契機として水田農業経営の効率化を進め、需要に応じた米生産の推進とともに園芸産地の育成に取り組み、併せて6次産業化など経営の多角化を推進し収益性向上による経営基盤の強化を図る。

さらに、生産条件の厳しい中山間地域等では、農業法人や多様な人材が参画する持続可能な地域営農体制を実現するとともに、豊かな地域資源を活かし多様な産業との連携によるコミュニティビジネスを推進する。

【推進課題】

<p>【農業を担う人材の確保・育成（人づくり）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規就農者の確保・育成 ○組織化・法人化の促進 <p>【担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たな米政策に対応した新潟米等の水田農業の確立 ○需要に応えられる園芸生産の拡大 ○経営の多角化 ○GAPの実践等による生産現場の技術革新・生産基盤の強化 <p>【地域農業の維持と農村の振興（仕組みづくり）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域農業の維持・振興に関する合意形成支援

【柏崎・刈羽地域の農業振興に係る主要目標】

目 標 項 目	基準年 (令和2年)	年度目標 (令和3年)	最終目標 (令和6年)
1 人づくり			
○新規就農・就業者数	10人/年	15人/年	15人/年
○農業法人数	69法人	70法人	73法人
2 ものづくり			
○1等級比率			
〔コシヒカリ〕	38%	90%以上	90%以上
〔葉月みのり〕	92%	90%以上	90%以上
○多収性品種の目標10a単収達成者率			
〔多収性品種：660kg以上〕	5%	50%	60%
〔飼料用米品種：地域基準単収+150kg〕	7%	50%	60%
○1億円を目指す園芸産地の販売額（4産地）	15,9169万円	24,841万円	50,000万円
○経営力向上法人（7者）経常利益向上数	4者	7者	7者
○GAP認証取得者	3農場	4農場	7農場
3 仕組みづくり			
○ビレッジプラン策定地区数	—	1地区	4地区

2 令和3年度推進方針

農業を担う人材の確保・育成（人づくり）、担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）、地域農業の維持と農村の振興（仕組みづくり）の3つの基本課題に基づき普及活動を展開する。

特に、「主食用米・非主食用米を合わせた柏崎・刈羽地域米の需要拡大と多収穫生産による生産者所得の最大化」「えだまめ、たまねぎ等1億円産地の育成や園芸のすそ野の拡大」「県・市村・JA等のパートナーシップによる中山間地域の集落維持・発展に向けた将来プランの策定」を重点課題として取り組む。

〔全県共通課題〕

- 販売額1億円産地を育成するための計画策定及び実践 ～柏崎地域の儲かる園芸の実現による産地強化～（えだまめ、たまねぎ、少量多品目 ※少量多品目の重点品目：カリフラワー、ブロッコリー）
- 持続可能な農業・農村の仕組みづくり（柏崎市南鯖石地区及び管地地区）

〔地域課題〕

- 需要に見合った米生産」～品種、用途に合わせた非主食用米の多収穫生産～（ゆきん子舞、新潟次郎）

重点課題

人づくり

- (1) 新規就農者の確保・育成
 - 新規就農・就業に向けた課題解決
 - 認定新規就農者の就業計画実践
 - ニュー農業塾開催による技術習得
 - 4Hクラブ活動、新規就農者交流会を通じた仲間づくり

- (2) 組織化・法人化の促進
 - 人・農地プランに基づく経営体を中心とした地域営農体制の確立
 - 法人化に向けた合意形成、設立初期法人の安定化
 - 農地維持が困難な中山間地域等における営農体制の構築に向けた農業法人等の連携

- (3) 多様な人材が活躍できる経営体の育成
 - 人手を必要とする法人等の農福連の取組推進

ものづくり

- (1) 新たな米政策に対応した新潟米等の水田農業の確立
 - 異常気象に対応した高品質良食味の安定生産
 - 「葉月みりのり」の生産拡大と高品質安定生産
 - 主食用米並の所得確保に向けた非主食用米の多収穫生産
 - 水田フル活用による大豆の安定生産

- (2) 需要に応えられる園芸生産の拡大
 - 1億円産地化計画の実践による産地育成
 - 1億円産地品目の生産技術の向上による単収確保
 - 地域重点品目の生産者確保等による生産拡大

- (3) 収益性の高い畜産経営の育成
 - 飼養管理改善等による生産性向上

- (4) 経営の多角化
 - 就業環境改善や外部専門家等を活用した農業法人の経営発展

- (5) GAPの実践による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化
 - GAPの実践による食品安全・労働安全等に配慮した農場ヘルづくり

仕組みづくり

- (1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援
 - 地域住民の主体的参画による地域活動に向けた推進体制の構築
 - 営農継続・集落機能の維持に向けた将来プランの策定

- (2) 野生鳥獣害による農産物の被害防止
 - 農作物被害防止に向けた集落ぐるみの取組

※ゴシクク体は重点課題項目

第2 課題別活動方針と指導計画

1 農業を担う人材の確保・育成（人づくり）

(1) 新規就農者の確保・育成

- ・ 関係機関・団体と連携し、就農候補者や就業希望者等に対して情報提供及び就農相談活動を行い、新規就農者、新規参入者、法人等就業者等の新たな担い手を確保する。
- ・ ニュー農業塾、新規就農者交流会等により、新規就農・就業者等若手農業者の生産及び経営管理技術の向上を図り、青年等就農計画の実践や着実な定着を支援する。
- ・ 4Hクラブへの活動支援を通じた若手農業者の仲間作りや女性クラブ員の確保により、地域リーダーの育成につながる活動や社会参画への取り組みを支援する。

指導事項	対象	目標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項目	目標値(前年度)			
ア 新規就農者の確保・育成						にいがた農業「3K」人づくり事業
(ア) 就農啓発及び就農・就業相談活動の実施	新規就農候補者リスト掲載者 新規就農・就業意向者	新規就農者・就業者数	15人 (10)	中野	市町村等へ調査	
イ 次世代の経営者育成						にいがた農業「3K」人づくり事業
(イ) 関係機関と連携した就農計画の実践支援	認定新規就農者(6人)	年度目標達成者数	6人 (0)	中野	対象者への聞き取り	
(イ) プロジェクト活動の実施	Yes農クラブ	プロジェクト活動実施数	1 (1)	佐久間	対象者への聞き取り	

(2) 組織化・法人化の促進

- ・ 人・農地プランに基づく、経営体を中心とした安定的な地域農業構造の確立を推進する。
- ・ 関係機関と連携し、法人化に向けた合意形成を支援するとともに、設立初期法人の経営の安定化を支援する。
- ・ 担い手不足により農地の維持が困難となっている中山間地域において、営農体制の構築に向けた農業法人等の連携を推進する。

指導事項	対象	目標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項目	目標値(前年度)			
ア 組織化・法人化等の推進						地域農業革新支援事業 農業法人連携推進事業
(ア) 法人設立支援	法人化意向者(今熊生産組合等)	新規法人設立数	1 (3)	児玉	随時確認	
(イ) 法人間連携による営農体制の構築	法人間連携意向者(柏崎市南鯖石地区)	連携方針合意形成数	1 (0)	児玉	随時確認	
イ 新設法人の経営基盤強化						地域農業革新支援事業
(イ) 設立間もない法人の経営安定化支援	設立5年以内の法人((農)曾地生産組合等)	収益性の向上	1 (0)	児玉	随時確認	

(3) 多様な人材が活躍できる経営体の育成

- ・ 経営発展に寄与する社会貢献活動としての農福連携の取組の啓発や理解促進を図る。
- ・ 地域における農福連携（施設外就労等）を、試行的におこなう経営体を支援する。

指導事項	対象	目 標		担当者	効果測定 方法	関連事業名
		項 目	目標値 (前年度)			
ア 農福連携の受入促進						農福連携等 普及啓発推 進事業
(ア) 受入経営体と 事業所のマッチ ング	雇用のある経営体・ 雇用意向のある経営 体	新規農福連携 実施者	1 (0)	中村	随時確認	

2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）

(1) 新たな米政策に対応した新潟米等の水田農業の確立

- ・ 関係機関等と連携し、異常気象等に対応した迅速かつ的確な情報提供と基本技術の徹底を図り、高品質良食味米を生産する。
- ・ 研究会を通じた情報提供と栽培指導により「新之助」の食味・品質を確保する。
- ・ 品種に応じた栽培管理を徹底し、充実した優良種子の生産を推進する。
- ・ 「葉月みのり」の収量確保と品質向上を推進する。
- ・ 主食用米並の所得確保に向け、多収性品種の目標収量の確保を図る。
- ・ 大豆の安定生産のための指導を行う

指導事項	対象	目標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項目	目標値(前年度)			
ア 新潟米ブランド力の維持・強化						新潟米生産対策推進費
(ア) 気象変動に対応した迅速な情報提供と適正管理による「柏崎・刈羽米」の高品質・安定生産	管内米出荷生産者	コシヒカリ1等級比率	90%以上(38)	田中	JA検査結果	「新之助」生産振興戦略推進費
		こしいぶき1等級比率	90%以上(92)			
(イ) 「新之助」の高品質・安定生産	管内新之助研究会(2)	基準達成率	100%(95)	石井	研究会検査等報告	
(ウ) 「葉月みのり」の高品質安定生産	管内葉月みのり生産者(68人)	収量510kg/10a以上生産者割合	80%以上(19)	中野	JA集荷品質検査結果	
		葉月みのり1等級比率	90%以上(98)			
(エ) 高品質水稻種子生産技術指導	(農)中鯖石種子生産組合	コシヒカリBLの契約数量確保率	100%(97)	石井	JAへ聞き取り生産物審査結果	
イ 非主食用米の生産拡大						新市場に対応した「新潟米」生産対策強化事業
(ア) ゆきん子舞の多収穫生産指導	ゆきん子舞生産者(会)(45人)	収量660kg/10a以上農業者割合	50%以上(5)	田中	JAへ聞き取り	
(イ) 飼料用米の多収穫生産指導	新潟次郎生産者(会)(126人)	地域基準反収+150kg達成農業者割合	50%以上(7)	佐久間	JAへ聞き取り	
ウ 大豆の生産拡大						新潟米生産対策推進費
(ア) 大豆安定生産指導	大豆生産者(16人)	収量180kg/10a以上生産者率	60%(19)	石井	JAへ聞き取り	

(2) 需要に応えられる園芸生産の拡大

- ・ 1億円産地化計画の実践し、産地育成を図るため、生産技術の確立による単収向上を図る。
- ・ 重粘土壌で排水不良水田への園芸導入にあたり、土壌条件の改良と栽培技術の向上を図る。
- ・ 地域重点品目の生産拡大を図るため、単収向上とともに新たな生産者の確保、面積拡大を進め地域の園芸生産額の拡大を図る。

指導事項	対象	目標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項目	目標値(前年度)			
ア 園芸産地の育成						園芸振興基本戦略推進事業 新技術等導入プロジェクト事業
(7) 単収向上によるたまねぎ産地の育成	JA 柏崎たまねぎ生産部会 (31戸)	JA荷受け単収3.5t以上農家数	8戸 (5)	児玉	JA・生産者へ聞き取り	
		単収	3.5t/10a (1.4)			
(4) 単収向上によるえだまめ産地の育成	JA 柏崎えだまめ生産部会 (28戸)	JA荷受け単収300kg/10a以上農家数	8戸 (3)	真貝		
		単収	300kg/10a (193)			
(9) 少量多品目産地の育成	JA 柏崎カリフラワー生産部会 (18戸)	カリフラワー単収1.8t以上農家数	3戸 (1)	燕		
	ブロッコリー栽培志向者	ブロッコリー単収1.0t以上農家数	2戸 (0)			
イ 園芸生産の拡大						園芸振興基本戦略推進事業
(7) 越後姫の生産拡大	JA越後姫生産部会 (4戸) ファームくじらなみ	単収4t以上農家数	3戸 (2)	真貝	JA・生産者へ聞き取り	
(4) アスパラガスの生産拡大	アスパラガス生産者、新規生産者 (4戸)	単収1t以上農家数 新規作付者数	1 (1) 2戸 (1)			

(3) 収益性の高い畜産経営の育成

- ・ 生乳の安定生産による経営安定に向け、乳質データを活用した課題の把握により飼養管理の技術改善を支援する。
- ・ 良質な自給飼料の確保による生乳の安定生産を支援する。
- ・ 飼養衛生管理基準の遵守を推進する。

指導事項	対象	目標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項目	目標値(前年度)			
ア 飼養管理技術の改善等 る生産性向上						畜産経営体質 強化推進事業
(イ) 生乳の安定生産	酪農経営体 (2戸)	計画数量達成率	100% (101)	石本	生産者へ 聞き取り	

(4) 経営の多角化

- ・ 農業法人等の収益向上に向けて外部専門家等と連携し、多角化部門等の定着・拡大を支援する。さらに、経営データ等の分析による経営力の向上を図る。
- ・ 就業者の定着に向け、雇用のある農業法人等への就業環境改善を支援する。

指導事項	対象	目標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項目	目標値(前年度)			
ア 企画・販売力の強化						普及指導総合 推進事業
(イ) 農業法人等の収 益向上支援	売上や利益の向 上を目指す農業 法人等 (7経営体)	経常利益が前年よ り向上した経営体 数	7戸 (4)	石本	随時確認	

(5) GAPの実践による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化

- ・ 県産農産物の安全性と信頼性の確保に向け、GAPの取り組みを推進する。また、意向のある経営体へは認証GAP取得を支援する。

指導事項	対象	目標		担当者	効果測定方法	関連事業名
		項目	目標値(前年度)			
ア 国際的に通用するGA Pの導入・実践						GAPから始 める農業発展 支援事業
(イ) GAP導入支援	GAP取得意向 経営体 (3戸)	認証GAP新規取 得経営体数	1戸 (0)	石井	随時確認	

3 地域農業の維持と農村の振興（仕組みづくり）

(1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援

- ・ 中山間地域の営農や集落機能を維持、発展させるため、地域住民の主体となった話し合いや取り組みを伴走支援する。
- ・ 農業法人等の活動組織が主体となって行う地域の将来プラン策定や活動組織づくりを伴走支援する。

指導事項 指導内容	対象	目標		担当者	効果測定 方法	関連事業名
		項目	目標値 (前年度)			
ア 営農継続に向けた地域の体制づくり						ビレッジプラン実践事業
(ア) 地域の関係者の連携による推進体制づくり	南鯖石地区	次年度プラン策定につなげる現状分析地区数	1 (0)	田中	随時確認	中山間地域等直接支払制度
(イ) 集落機能の維持に向けた将来プランの策定支援	曾地地区	将来プランの策定数	1 (0)	石本	随時確認	

(2) 野生鳥獣による農作物の被害防止

- ・ 農作物被害防止に向けた集落ぐるみの取組を支援する。

指導事項 指導内容	対象	目標		担当者	効果測定 方法	関連事業名
		項目	目標値 (前年度)			
ア 総合的な野生鳥獣被害防止対策の推進						農作物鳥獣被害対策事業
(ア) 農作物被害防止に向けた集落ぐるみの取組	被害防止対策に関心のある集落	集落診断の実施	1 (1)	田中	随時確認	

第3 重点課題

1 全県共通課題

基本課題				担当チーム及びリーダー	
普及課題	指導事項	指導内容	対象		
【販売額1億円産地を育成するための計画策定及び実践】				柏崎地域園芸推進チーム	
2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）					
(2) 需要に応えられる園芸生産の拡大	ア 園芸産地の育成	(ア) 単収向上によるたまねぎ産地の育成	JA柏崎たまねぎ生産部会		チームリーダー 小泉企画振興課長
		(イ) 単収向上によるえだまめ産地の育成	JA柏崎えだまめ生産部会		サブリーダー 中村普及課長
		(ウ) 少量多品目産地の育成	JA柏崎カキフラワー生産部会		
【持続可能な農業・農村の仕組みづくり】				ビレッジプラン2030推進チーム	
3 地域農業の維持と農村の振興（仕組みづくり）					
(1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援	ア 営農継続に向けた地域の体制づくり	(ア) 地域の関係者の連携による推進体制づくり	南鯖石地区		チームリーダー 小泉企画振興課長
		(イ) 集落機能の維持に向けた将来プランの策定支援	曾地地区	サブリーダー 中村普及課長	

2 地域課題

基本課題				担当チーム及びリーダー
普及課題	指導事項	指導内容	対象	
【需要に見合った米生産～品種、用途に合わせた非主食用米の多収穫生産～】				非主食用米多収穫生産プロジェクトチーム
2 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）				
(1) 新たな米政策に対応した新潟米等の水田農業の確立	イ 非主食用米の生産拡大	(ア) ゆきん子舞の多収穫指導	JA柏崎ゆきん子舞生産部会	
		(イ) 飼料用米の多収穫生産指導	JA柏崎新潟次郎生産部会	

令和3年度 重点課題取組計画（地域推進子一ム取組計画）

柏崎地域振興局農振興部（柏崎農業普及指導センター）

<p>販売額1億円産地を育成するための計画策定及び実施 ～ 柏崎地域の協働による産地強化 ～</p>	<p>関係機関・団体 柏崎地域農業振興協議会 生産振興部会（園芸） （農業振興部企画振興課、普及課、農村整備課）、柏崎市、刈羽村、JA柏崎、NOSAI 新潟</p>
<p>基本課題 普及課題 指導事項</p>	<p>地域推進 チーム体制 総括 横山副部長 チームリーダー 小泉企画振興課長、サブリーダー 中村普及課長 チーム員 真良技術専門員、尾玉専門普及指導員、燕主査普及指導員、阿部課長代理（農村） ・園芸振興戦略基本推進総合対策事業、園芸産地強化支援事業、新技術導入プロジェクト事業、にいがた農業（新）3 KJ 人づくり事業、新潟県農林水産業総合振興事業、園芸チャレンジャー事業</p>
<p>指導内容</p>	<p>関連する事業 （7）単収向上によるたまたま産地の育成、（8）少量多品目産地の育成 成、（9）少量多品目産地の育成</p>

◆支援対象と目標

<p>1 現状分析 ・米に特化した地域ながら、園芸産地化品目を中心に雇用を確保している経営体で園芸導入が拡大 ・R1年度にたまたま、えだまめ、R2年度には少量多品目で園芸産地育成計画を策定 ・しかしながら、生産技術は確立しておらず、単収向上による備かる園芸の実現が急務 【R2年度の品目別現状】 （1）たまたま 生産面積10.2ha、生産者31人だが、単収1.4t/10aと低いことから産地化は鈍化している状況 その中、JAではR3年度に共同利用収穫機械の導入を行い、収穫作業の効率化により生産拡大を計画、後作を含めた水田高田利用や単収向上による収益拡大が必要 （2）えだまめ JA選別調製基幹施設の稼働や収穫作業の委託体制を試行し、生産者数、生産面積ともに拡大傾向にあるが、製品単収198kg/10aと低いことから単収向上による収益確保が必要 （3）少量多品目 直売所仕向けなどを含めた少量多品目の産地育成計画の中、カリフラワー、ブロッコリーを重点としてたまたま、えだまめ前後作として導入した収益確保が必要 ○R2年度の生産状況（単位：ha、t、千円、kg）</p> <table border="1"> <tr> <th>産地化品目</th> <th>面積</th> <th>生産量</th> <th>販売額</th> <th>単収</th> </tr> <tr> <td>たまたま</td> <td>10.2</td> <td>134.6</td> <td>10,417</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>えだまめ</td> <td>27.9</td> <td>33.6</td> <td>25,186</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>カリフラワー/ブロッコリー</td> <td>5.2</td> <td>35.5</td> <td>3,414</td> <td></td> </tr> </table>	産地化品目	面積	生産量	販売額	単収	たまたま	10.2	134.6	10,417	1,400	えだまめ	27.9	33.6	25,186	193	カリフラワー/ブロッコリー	5.2	35.5	3,414		<p>目標項目① 既存の産地育成計画のR3目標</p> <table border="1"> <tr> <th>支援対象（産地名）</th> <th>面積（ha）</th> <th>生産者（人）</th> <th>販売額（千円）</th> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>R3</td> <td>H30</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>たまたま</td> <td>9.5</td> <td>31</td> <td>7,942</td> <td>19,850</td> </tr> <tr> <td>えだまめ</td> <td>15.9</td> <td>10</td> <td>12,120</td> <td>98,560</td> </tr> <tr> <td>少量多品目</td> <td>10.2</td> <td>52</td> <td>101,530</td> <td>130,000</td> </tr> <tr> <td>（重点：カリフラワー、ブロッコリー）</td> <td>3.8</td> <td>27</td> <td>4,971</td> <td>6,000</td> </tr> </table>	支援対象（産地名）	面積（ha）	生産者（人）	販売額（千円）	H30	R3	H30	R3	たまたま	9.5	31	7,942	19,850	えだまめ	15.9	10	12,120	98,560	少量多品目	10.2	52	101,530	130,000	（重点：カリフラワー、ブロッコリー）	3.8	27	4,971	6,000
産地化品目	面積	生産量	販売額	単収																																													
たまたま	10.2	134.6	10,417	1,400																																													
えだまめ	27.9	33.6	25,186	193																																													
カリフラワー/ブロッコリー	5.2	35.5	3,414																																														
支援対象（産地名）	面積（ha）	生産者（人）	販売額（千円）																																														
H30	R3	H30	R3																																														
たまたま	9.5	31	7,942	19,850																																													
えだまめ	15.9	10	12,120	98,560																																													
少量多品目	10.2	52	101,530	130,000																																													
（重点：カリフラワー、ブロッコリー）	3.8	27	4,971	6,000																																													
<p>◆現状分析と課題</p>	<p>目標項目② 現況（令和2年） 令和3年</p> <table border="1"> <tr> <td>新たな産地育成計画の策定数</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地域園芸振興プランで販売額1億円を目指す産地数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>※上段は目標値、下段のカッコ内は実績値</p>	新たな産地育成計画の策定数	1	0	地域園芸振興プランで販売額1億円を目指す産地数	—	1																																										
新たな産地育成計画の策定数	1	0																																															
地域園芸振興プランで販売額1億円を目指す産地数	—	1																																															

◆対応方針

○柏崎地域は排水不良な重粘土壌一畝不足や過密一園芸品目の収益性が低い状況にあることから、当面は確実な単収確保による備かる園芸を重点とする。
【共通推進事項】
・推進チーム会議の定期開催（1回/月）による情報共有と連携強化
・現地研修会の拡充とチーム員参加による生産者等の要望・課題的確な共有
・産地拡大に向けて、雇用のある法人や市場整備関連地区への導入啓発
・たまたま、えだまめの前後作導入による水田活用の高効率化、高収益化収益化
・実証展示ほの設置・運営による技術課題の解明と技術改善
・新たな産地育成計画の策定検討

【品目別対応事項】
（1）たまたま 課題：単収向上、生産量拡大 →平均3.5t/10a以上の確保
・排水対策の徹底と適正な地下水水位確保（土壌水分確保）
・越冬直後の肥培管理の徹底
・共同利用高性能収穫機械化体系の導入と省力化→たまたま栽培者拡大
（2）えだまめ 課題：単収向上 →平均製品量300kg/10aの確保
・排水対策の徹底と適正な地下水水位確保→周田圃整備の徹底
・現地研修会の充実と組合員は協相互視視察研修の充実
・色彩計による茶豆食味の把握と改善、差別化販売の試行
・新潟県14号の地域ブランド名による販路拡大
（3）少量多品目 重点としてカリフラワー、ブロッコリーの生産拡大 →単収向上
・カリフラワー、ブロッコリーを重点として、生産拡大を進める。
・生産者/生産面積の確保 →カリフラワー4ha、ブロッコリー2ha
・高温期の育苗と定植作業の改善による初期生育確保
・病害虫防除の徹底
・たまたま、えだまめ生産者への前後作として導入促進

◆具体的活動内容

1 今年度の活動内容
【チーム活動】
① 農業振興協議会生産振興部会活動として、チーム会議を毎月開催
② 産地育成チーム員の品目別技術研修会等へ参加し、生産者の要望・課題を把握
【品目別活動】
（1）たまたま
・単収向上に向け、実証ほを設置し、肥培管理技術の改善を図る。
・高性能収穫機械の導入支援と実証研修会の開催を通じた機械化体系の改善提案
（2）えだまめ
・単収向上に向けた土作りや実証ほ設置、生産技術研修会を通じた栽培技術の確立
・直まき等省力栽培に対応した新技術の導入実証（マルチ直まき、先刈り栽培等）
（3）少量多品目
・面積拡大に向けたたまたま、えだまめ生産者へカリフラワー、ブロッコリー導入促進
（4）新たな産地化計画の作成検討
<活動スケジュール>

時期	内容
4～3月	チーム会議：毎月1回定期開催、チーム員の現地研修会参加
7,12,3月	産地化協議会、反省検討会など
4,5,6,7月	えだまめ生産技術研修会（4回）、園芸産地育成計画（4回）
4,5,6,3月	たまたま生産技術研修会（4回）
7,8,9,10月	カリフラワー、ブロッコリー生産技術研修会（3回）、園芸産地育成計画（3回）
4～3月	実証ほ等の設置・運営（たまたま2、えだまめ3、朝-ブ3）

2 次年度以降の活動内容
① R3年度の活動を継続し、毎月の定例チーム会議開催により、県、市村、JAの各担当者間の役割分担により、産地育成を進める。
② また、品目別指導会等への市村担当者の参加により、生産者等の要望・課題の把握を進め、適時的確な事業導入により産地育成を加速する。

令和3年度 重点課題取組計画

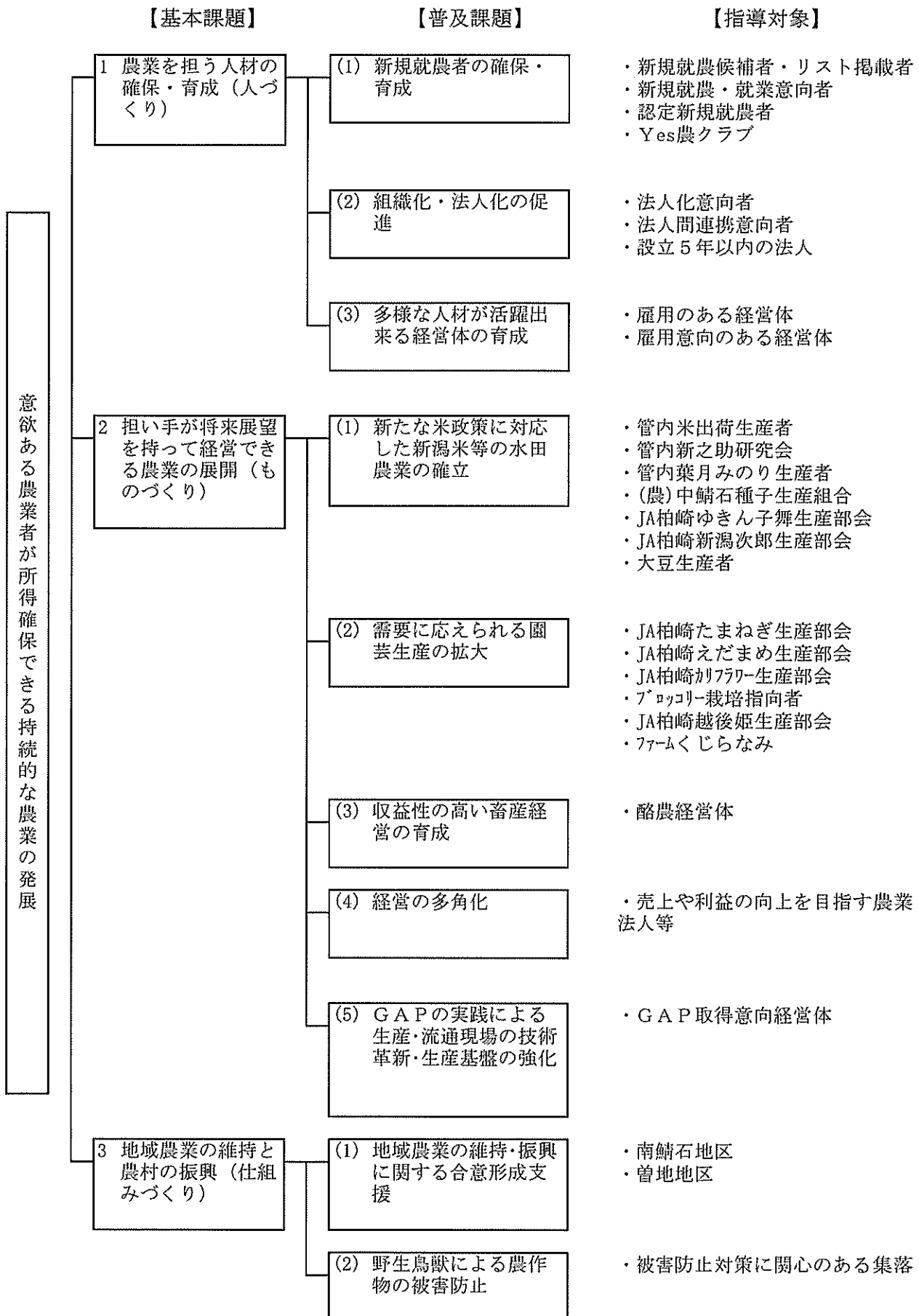
<p>タイトル</p> <p>持続可能な農業・農村の仕組みづくり</p>	<p>総括担当者名</p> <p>横山副部長</p>	<p>柏崎地域振興局農業振興部 (柏崎農業普及指導センター)</p>
<p>基本課題</p> <p>3 地域農業の維持と農村の振興 (仕組みづくり)</p>	<p>推進体制 (課名) (担当者名)</p> <p>リーダー 小泉課長 サブリーダー 中村課長 チーム員 小林企画専門員、田中課長代理、石本課長代理、真貝専門技術員、石井専門普及指導員、見玉専門普及指導員、燕主査普及指導員、中野普及指導員、佐久間技術員、燕主査普及指導員、中山間地域等直接支払交付金、地域農業改革支援事業、多面的機能支払交付金</p>	<p>推進可能な農業・農村の仕組みづくり</p> <p>3 地域農業の維持と農村の振興 (仕組みづくり)</p> <p>(1) 地域農業の維持・振興に関する合意形成支援</p> <p>ア 営農継続に向けた地域の体制づくり</p> <p>(7) 地域の関係者の連携による推進体制づくり</p> <p>(イ) 集落機能の維持に向けた特来プランの策定支援</p>
<p>指導事項</p> <p>ア 営農継続に向けた地域の体制づくり</p>	<p>関連する事業</p> <p>ヒレッジプラン実践事業、中山間地域等直接支払交付金、地域農業改革支援事業、多面的機能支払交付金</p>	<p>指導内容</p> <p>(イ) 集落機能の維持に向けた特来プランの策定支援</p>
<p>現状と課題</p>	<p>2 目標</p>	<p>◆支援対象と目標</p> <p>1 指導対象</p> <p>【地区の現状分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柏崎市南鯖石地区 【特来プランの策定】 ・ 柏崎市曾根地区 <p>◆対応方針</p> <p>【柏崎市南鯖石地区】～中山間直払いの広域協定締結を見据えた活動体制の構築～</p> <p>1 推進チーム：地域住民 各農家組合、各町内会</p> <p>外部人材 NPO 法人 aisa、地域おこし協力隊 関係機関 市、JA、振興局、コミセン</p> <p>2 方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推進チームは農業生産と集落活動の2チーム構成で活動を推進する。 ・ 集落活動面は今年度中に活動母体を作る。 <p>【柏崎市曾根地区】～隣接集落と共働した地域づくり～</p> <p>1 推進チーム：地域住民 曾根農家組合 曾根町内会</p> <p>外部人材 NPO 法人 aisa、地域おこし協力隊 関係機関 市、JA、振興局</p> <p>2 方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (農)曾根農家組合の収益向上支援。 ・ 中間管理機構の活用と隣接地区との農地集積・集約化。 ・ 集落協定の広域化を活かした集落活動 (農地管理、鳥獣害対策) の強化 ・ 移住者や通い農業をする人が集落に関われる受け入れ意識の醸成。 <p>◆具体的活動内容</p> <p>1 今年度の活動内容</p> <p>【柏崎市南鯖石地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推進チームへの関係者参画依頼と今年度の支援方向や活動計画を検討。 ・ 現状分析のための意見交換会を開催 (コミセンと共催、各関係組織へ声掛け) ・ 外部講師による現地指導を踏まえ次年度プラン策定につなげるプラン骨子を作成。 ・ 検討結果は、コミセン内に提示、コミセン広報誌で周知 <p>【柏崎市曾根地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新設法人の経営の安定化と農地の集積・集約化。 ・ 中山間直払いの広域集積協定が初年度のため活動支援が必要。 ・ 移住者等との共生につなげる関係構築。
<p>目標項目</p> <p>基準年 (令和2年)</p> <p>1</p> <p>現状 (令和2年)</p> <p>1</p> <p>目標 (令和3年)</p> <p>1</p>	<p>目標項目</p> <p>基準年 (令和2年)</p> <p>0</p> <p>現状 (令和2年)</p> <p>0</p> <p>目標 (令和3年)</p> <p>1</p>	<p>＜活動スケジュール＞</p> <p>時期 内容</p> <p>4～5月 推進チームの選定と第1回チーム会議</p> <p>6月 コミセンへの協力依頼と関係組織役員への協力依頼</p> <p>7～8月 意見交換会の開催 (現状分析、地元関係団の作成) ・外部人材活用</p> <p>10月 外部講師による現地指導</p> <p>11～2月 地区検討会 (プラン骨子の作成) ・外部人材活用</p> <p>5～3月 広報活動 (コミセン内掲示物作成、広報誌作成) ・外部人材活用</p> <p>【柏崎市曾根地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新設法人への技術支援 (水稲実証ほの設置、栽培指導会) ・ 農家組合による農地集積検討会の開催。 ・ 集落活動の支援 (電気柵設置の共同作業) ・ 集落や法人による体験イベント企画と参加誘導 <p>＜活動スケジュール＞</p> <p>時期 内容</p> <p>随時 推進チーム打ち合わせ</p> <p>4～9月 水稲栽培技術支援 (実証ほ設置、栽培指導会)</p> <p>7～8月 集落協定活動 (電気柵設置) 支援</p> <p>10月 農地集積検討会の開催</p> <p>10～12月 地区意見交換会の開催</p> <p>1～2月 特来プランの策定、次年度計画の検討</p> <p>2 次年度以降の活動内容</p> <p>【柏崎市南鯖石地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推進チームを農業生産と集落活動の2チーム構成で活動・プラン策定支援 ・ 次年度の取り組み内容の合意形成に向けた活動報告会の開催 <p>【柏崎市曾根地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (農)曾根農家組合の経営安定化支援 ・ 集落が協力して行う鳥獣害対策の体制づくり ・ 隣接地区 (矢田・吉井) との関係構築

重点課題取組計画

令和3年度

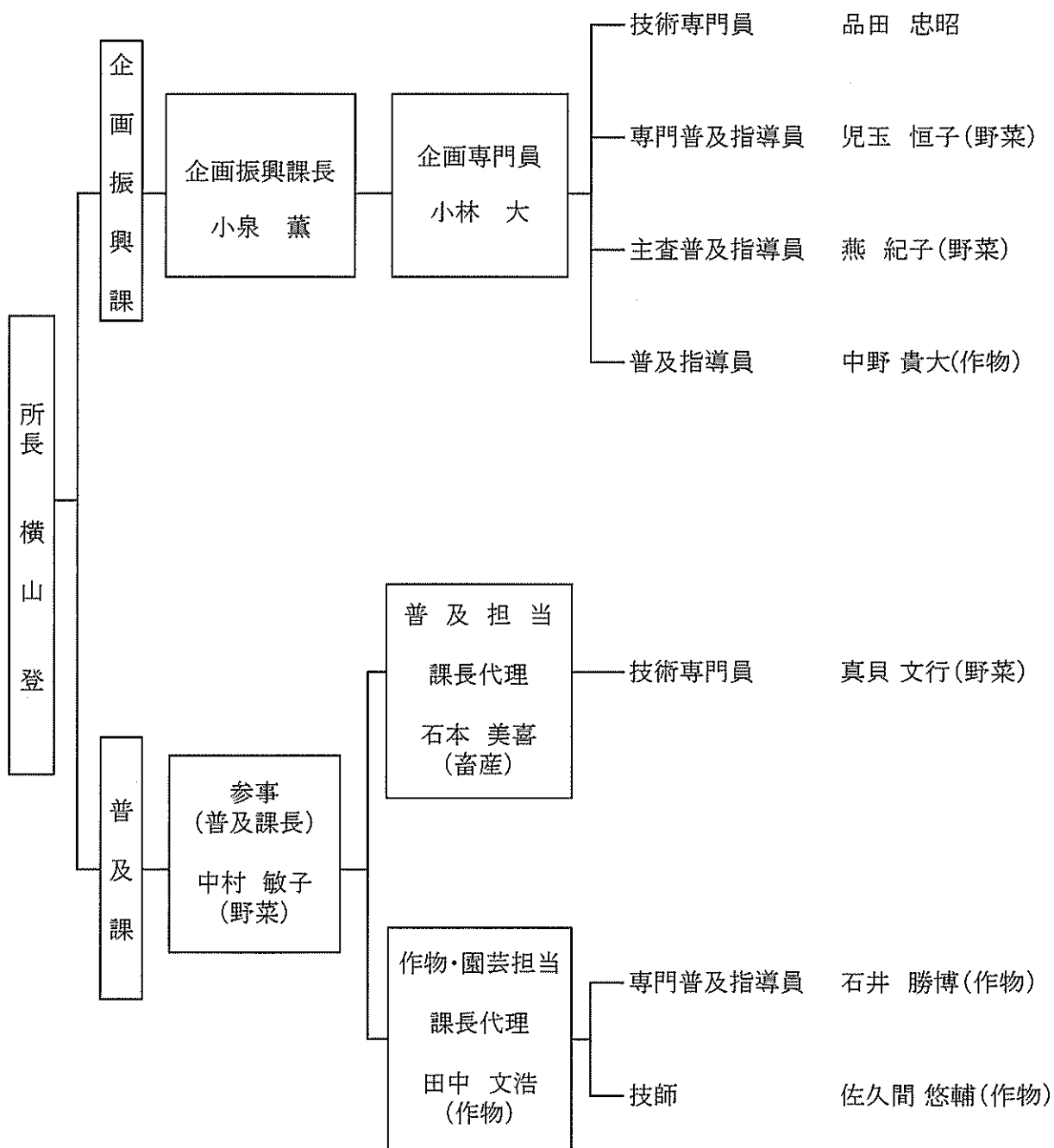
<p>タイトル 需要に見合った米生産 ～品種、用途に合わせた非主食用米の多収獲生産～</p> <p>基本課題 担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開（ものづくり）</p> <p>指導事項 (1) 新たな米政策に対応した新潟米等の水田農業の確立 イ 非主食用米の生産拡大</p> <p>指導内容 (ア) ゆきん子舞の多収獲生産指導 (イ) 飼料用米の多収獲生産指導</p>	<p>総括担当者名 横山副部長</p> <p>推進体制 (黒) 副総括 中村普及課長 (白) (担当者名) チームリーダー 普及課 企画振興課 田中課長代理 普及課 石井専門普及指導員、佐久間技師 普及課 品田技術専門員、中野普及指導員 企画振興課</p> <p>関連する事業 新市場に対応した「新潟米」生産対策強化事業</p>	<p>柏崎地域振興局農業振興部 (柏崎農業普及指導センター)</p>																																		
<p>◆現状分析と課題</p> <p>1 現状分析 (1) これまでの米の需給調整の取組 ・売れる米づくりに向けコシヒカリ以外の銘柄米について推進してきている。 ・これまでに需給調整は、加工用米、備蓄用米、新規需需米、大豆を中心に対応し、毎年、生産数量目標参考値を達成している。 (2) R3年産の米需給調整の取組について ・R3年産の生産目標数量の目安は前年に比べ約240ha減少している。(柏崎市:210ha、刈羽村30ha) ・生産数量目標の達成に向け、大幅に非主食用米への転換を図るため、地域共生協議会が主体となり、直轄交付金や産地交付金の積極的な活用により非主食用米等の転換を推進する。 ・また、水田リノベーション事業に申請のある約180haの対象は場で多収獲・低コスト栽培に取り組み。 (3) 非主食用米への転換による生産者手取りの確保の取組 ア 加工用米はこしいぶき、ゆきん子舞でありR2年産の取組面積は26ha程度で、小規模な取組レベルである。 ・R2年産ゆきん子舞の収量は521kg/10aと目標(660kg/10a)に比べ低い。 ・R3年産は現時点で取組面積は167haとなっており多収獲生産の達成が必要である。</p>																																				
<p>◆指導対象と目標</p> <p>1 指導対象 J A 柏崎 ゆきん子舞生産者(会) 45人 J A 柏崎 新潟次郎生産者(会) 126人</p> <p>2 目標 ※上段は目標値、下段のカッコ内は実績値</p> <table border="1" data-bbox="687 73 1070 965"> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標年 (R2年)</th> <th>現状 (R2年)</th> <th>目標年 (R3年)</th> <th>現状 (R3年)</th> </tr> <tr> <td>ゆきん子舞 収量660kg/10a以上農業者割合</td> <td>5%</td> <td>5%</td> <td>5%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>新潟次郎 基肥収量より+150kg/10aの収量を達成した農業者割合</td> <td>7%</td> <td>7%</td> <td>7%</td> <td>50%</td> </tr> </table>	目標項目	目標年 (R2年)	現状 (R2年)	目標年 (R3年)	現状 (R3年)	ゆきん子舞 収量660kg/10a以上農業者割合	5%	5%	5%	50%	新潟次郎 基肥収量より+150kg/10aの収量を達成した農業者割合	7%	7%	7%	50%	<p>◆具体的活動内容</p> <p>1 今年度の活動内容 (1) 主食用米以上の収入確保に向けた多収獲技術の確立と普及 ア 農業振興協議会生産振興部会で方針を決定し、各関係機関が連携してきめ細やかな栽培管理指導と情報発信に取り組み。 ・実証ほの設置、調査、成績検証の実施 ・J A 新潟次郎生産者会に対し、生育データに基づいた栽培技術に関する情報提供及び多収獲実証ほを活用した現地指導を実施 ・実証ほを設置し、高窒素全量基肥肥料や低価格肥料の使用による低コスト生産を推進する。 ・また、新たな低コスト技術について関係機関との情報共有を図り、展示ほ等の取組を進め、生産部会へ発信する。 (2) 品種・用途に合わせた非主食用米への生産誘導 ・大規模経営体への需給動向や助成制度の周知を図る。 ・多収獲、所得確保のモデル事例の啓発</p> <p><活動スケジュール></p> <table border="1" data-bbox="687 607 1070 965"> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>作付け前指導会(多収獲栽培のポイント)</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>展示ほ担当農家の選定、栽培計画作成指導</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>展示ほ設置、生育調査と栽培管理情報の提供</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>稲肥指導会、生育調査と栽培管理情報の提供</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>収量調査と栽培管理情報の提供</td> </tr> <tr> <td>8～9月</td> <td>収量調査とりまとめ</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>作柄検討と次年度対策</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>作付け前指導会</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td></td> </tr> </table>	時期	内容	3月	作付け前指導会(多収獲栽培のポイント)	4月	展示ほ担当農家の選定、栽培計画作成指導	5月	展示ほ設置、生育調査と栽培管理情報の提供	6月	稲肥指導会、生育調査と栽培管理情報の提供	7月	収量調査と栽培管理情報の提供	8～9月	収量調査とりまとめ	10月	作柄検討と次年度対策	12月	作付け前指導会	3月	
目標項目	目標年 (R2年)	現状 (R2年)	目標年 (R3年)	現状 (R3年)																																
ゆきん子舞 収量660kg/10a以上農業者割合	5%	5%	5%	50%																																
新潟次郎 基肥収量より+150kg/10aの収量を達成した農業者割合	7%	7%	7%	50%																																
時期	内容																																			
3月	作付け前指導会(多収獲栽培のポイント)																																			
4月	展示ほ担当農家の選定、栽培計画作成指導																																			
5月	展示ほ設置、生育調査と栽培管理情報の提供																																			
6月	稲肥指導会、生育調査と栽培管理情報の提供																																			
7月	収量調査と栽培管理情報の提供																																			
8～9月	収量調査とりまとめ																																			
10月	作柄検討と次年度対策																																			
12月	作付け前指導会																																			
3月																																				
<p>◆対応方針</p> <p>(1) 主食用米以上の収入確保に向けた多収獲技術の確立と普及 ア 農業振興協議会生産振興部会で方針を決定し、各関係機関が連携してきめ細やかな栽培管理指導と情報発信に取り組み。 イ 重点技術対策を策定し、安定多収獲の実施 ・5月連休前田植の実施 ・出穂期までSPAD値40以上を維持する施肥対応 ・病害虫防除対策 ウ 重点技術対策の徹底 ・展示ほ等の設置、地敷栽培を活用した各種指導会の開催 ・多収獲をねらう品種と高品質米生産品種との栽培管理の関連を指導 エ 栽培技術の平準化と低コスト技術の推進 ・実証ほ等を通じて多収獲、所得確保のモデルを構築 ・高窒素全量基肥肥料や低価格肥料による低コスト技術の導入を図り、主食用米以上の収入確保を目指す。</p> <p>(2) 品種・用途に合わせた非主食用米への生産誘導 ・大規模経営体に対し需給動向や制度の周知を図り、需要に見合った米生産への転換を推進する。</p>	<p>2 課題 (1) 主食用米以上の収入確保に向けた多収獲技術の確立と普及 (2) 品種・用途に合わせた非主食用米の生産拡大</p>																																			

第4 課題体系及び指導対象



第5 活動体制及び業務分担表

1 組織及び活動体制



2 業務分担表

(1) 企画振興課

担 当 事 務	主 任	副 任
1 企画振興課の総括に関する事項	小泉企画振興課長	小林企画専門員
2 構造政策に関する事項		
① 地域農業・農村の総合企画・推進に関する事項	小林企画専門員	小泉企画振興課長
② 国・県事業の企画・調整に関する事項		
③ 国の経営構造対策、経営体支援事業等に関する事項		
④ 農林・農地調整会議に関する事項	小泉企画振興課長	小林企画専門員
⑤ 市村農業再生協議会の支援に関する事項		
⑥ 経営基盤強化促進対策及び人・農地プラン等に関する事項		
⑦ 農地中間管理機構関連事業に関する事項	児玉専門普及指導員	小林企画専門員
⑧ 耕作放棄地対策に関する事項		
3 農業の担い手（農業人材）育成に関する事項		
① 意欲ある農業の担い手確保育成の企画・推進	中野普及指導員	児玉専門普及指導員
② 農業人材育成研修教育の実施（女性農業者の育成含む）		
③ 新規就農者、新規参入者、農業法人就業者、 定年就農者に対する指導助言及び情報提供		
④ 地域農業リーダー育成の企画・推進		
⑤ 新規就農・経営継承総合支援事業の企画、推進		
⑥ 関係機関、団体との連携・調整		
4 経営体の育成に関する事項		
① 経営体の育成に関する企画・推進	児玉専門普及指導員	中野普及指導員
② 農業生産の組織化・法人化に関する企画・推進		
③ 制度資金の貸し付け及び計画的活用の企画・推進		
④ 外部専門家との連絡及び調整		
5 農業情報に関する事項		
① 普及情報の企画・推進	燕主査普及指導員	児玉専門普及指導員
② 地域農業情報活動の企画・運営及び情報機材の管理運営		
③ 農業普及情報システムの活用の企画・推進		
④ 情報関係推進事業の企画・調整		
⑤ 県民への情報提供		
6 中山間地域等の振興に関する事項		
① 中山間地域振興の企画・推進	小林企画専門員	中野普及指導員
② 中山間直払制度に関する事項		
③ 都市農村交流に関する事項	中野普及指導員	小林企画専門員
④ 地域戦略事業の推進に関する事項		
7 農業災害に関する事項		
① 農林水産業被害報告に関する事項	児玉専門普及指導員	小林企画専門員
② 農業災害対策に関する事項		
8 農畜産物の生産振興に関する事項		
① 経営所得安定対策に関する事項	品田技術専門員	小林企画専門員
② 主要作物の生産振興に関する事項	燕主査普及指導員	小林企画専門員
③ 園芸の生産振興に関する事項	品田技術専門員	燕主査普及指導員
④ 畜産の生産振興に関する事項		
⑤ 環境保全型農業の推進に関する事項	中野普及指導員	品田技術専門員
⑥ 環境保全型農業直接支援対策に関する事項		
⑦ 新潟県特別栽培農産物認証制度に関する事項		
⑧ 農薬・土壌汚染等に関する事項		
⑨ 肥料の生産及び販売等に関する事項		
⑩ 鳥獣害対策に関する事項	品田技術専門員	燕主査普及指導員
9 食品の流通販売に関する事項		
① 食の安全・安心に関する事項	燕主査普及指導員	品田技術専門員
② 地産地消の推進に関する事項		
③ 市場・流通関係に関する事項		
④ 食品産業との連携に関する事項		
10 農林県単事業に関する事項	小林企画専門員	児玉専門普及指導員

(2) 普及課

担 当 事 務	主 任	副 任
1 普及課の総括に関する事項	中村普及課長	石本課長代理 田中課長代理
2 普及指導活動の実施に関する事項		
① 普及指導計画の樹立、進行管理及び活動の評価	石本課長代理	真貝技術専門員
② 普及関係事業の企画・調整及び実施		
③ 市村担い手育成総合支援協議会等との連携及び企画・運営指導	田中課長代理	石本課長代理
④ 全域及び市村農業改良会議の設置と運営	石本課長代理	田中課長代理
⑤ 普及情報の収集と提供	佐久間技師	真貝技術専門員
⑥ 診断室、実験室、作業室等の管理運営	石井専門普及指導員	真貝技術専門員
⑦ 農業普及指導センター指導力向上研修の企画、運営	真貝技術専門員	石本課長代理
⑧ 調査研究活動の企画、運営	真貝技術専門員	石本課長代理
⑨ 試験研究機関と連携した活動の企画、運営	中村普及課長	石本課長代理
⑩ 農林・農地の調整に関する企画・連携	田中課長代理	石本課長代理
3 農業経営及び農業技術の指導に関する事項		
① 専門項目の総括と活動調整	中村普及課長	田中課長代理
② 作物の技術、経営に関する指導	田中課長代理	石井専門普及指導員
③ 野菜の技術、経営に関する指導		
④ 果樹の技術、経営に関する指導	真貝技術専門員	中村普及課長
⑤ 花きの技術、経営に関する指導	中村普及課長	真貝技術専門員
⑥ 畜産の技術、経営に関する指導	石本課長代理	中村普及課長
⑦ 6次産業化（加工）の技術、経営に関する指導	中村普及課長	石本課長代理
⑧ 農薬の適正使用・管理に関する指導	田中課長代理	真貝技術専門員
⑨ 食の安全・安心確保に関する指導	石井専門普及指導員	真貝技術専門員
⑩ G A Pの普及推進に関する指導	石井専門普及指導員	石本課長代理
⑪ 農業関係補助事業を活用した経営改善に関する指導	石本課長代理	田中課長代理
⑫ 制度資金を活用した経営改善に関する指導	石井専門普及指導員	田中課長代理
⑬ 農業災害に関する指導	田中課長代理	真貝技術専門員
⑭ 病害虫防除に関する指導	佐久間技師	真貝技術専門員
⑮ 土壌診断及び施肥改善に関する指導	石井専門普及指導員	真貝技術専門員
⑯ 鳥獣害対策に関する指導	田中課長代理	佐久間技師
⑰ 展示ほ・実証ほに関する事項	佐久間技師	石井専門普及指導員
⑱ スマート農業推進に関する指導	石井専門普及指導員	真貝技術専門員
4 農業の担い手及び経営体育成の指導に関する事項		
① 農業人材の確保育成指導	石井専門普及指導員	佐久間技師
② 経営体の育成指導	石本課長代理	田中課長代理
③ 農業生産組織、農業法人の育成指導	田中課長代理	石本課長代理
④ 農村女性等の起業化指導		
⑤ 農福連携に関する指導	中村普及課長	石本課長代理
5 農村の課題解決に向けた地域づくり活動に関する事項	田中課長代理	石本課長代理
6 農業改良普及事業の事務補助に関する事項	猪爪職員	—

第6 企画調整業務計画

区分	大項目	小項目	内 容	時期 (回数)
普及 企 画	1 普及指導計画の樹立 及び進行管理	1 指導計画の樹立	・計画樹立検討	1～3月(5回)
		2 活動計画検討表 の進行管理実施	・チーム及び所内検討 ・所長・課長ヒアリング	7・10・1・3月(4回) 5・10・1・3月(4回)
	2 普及関係推進事業の 企画調整	1 事業推進の進行 管理	・普及指導活動の調整 ・チーム検討	7・10・12・3月(4回) 7・10・12・3月(4回)
		3 農業改良会議の設置と 運営	1 農業改良会議の 開催	・全域農業改良会議 ・地域農業改良会議
4 職場研修の企画、運営	1 課題研修の企画 と運営	・指導力向上研修 ・調査研究活動等	6・8・10月(3回) 4～3月	
経 営 管 理	1 経営体育成指導等の企 画・推進	1 経営体育成支援	・経営管理能力等の向上支 援	4～3月
		2 農地集積・集約 化の推進	・人・農地プラン等の取組 支援	4～3月
	2 農業経営相談活動の企 画・運営	1 経営改善指導	・経営診断・経営改善支援 ・組織化・法人化に向けた 支援	4～3月 4～3月
3 制度資金の計画的活用 の企画・推進	1 制度資金活用支 援	・資金活用による経営改善 指導	4～3月	
担 い 手 育 成	1 多様な農業担い手確保 育成の企画・推進	1 担い手育成	・就農・雇用相談等 ・就農相談活動	4～3月 随時
		2 農業人材育成研修教育 の実施	1 人材育成 2 事業推進	・ニュー農業塾・園芸参入 塾等、研修会の開催 ・農業士等認定・育成 ・農業大学校との連携
	3 関係機関・団体との連 携・調整	1 連携・調整	・担い手対策協議会	5・12・3月(3回)
普 及 情 報	1 地域農業普及情報活動 の企画・運営	1 現地情報の収 集・管理	・センターだよりの発行 ・農業技術情報の発行	5・2月(2回) 4～3月
		2 情報の収集管理	・ホームページの管理	4～3月
	2 普及情報ネットワーク システムの活用推進	1 情報受発信機能 の促進	・にいがた農業ナビ・メー ル マガジンの利用促進	4～3月
2 情報提供		・現地情報の提供	4～3月	
3 普及情報機材等の管理 運営	1 共有情報等管理	・所内LAN・機材等の管理	4～3月	

第7 普及指導員が実施する調査研究の課題一覧表

課題名	実施者
カブリダニを活用した「いちご」のハダニ防除効果の確認	真貝、横山
潜在労働力を活用したたまねぎ生産の労力補完可能性調査	燕、児玉
生産現場で農福連携を推進するための管内状況調査	石本、中村
多収性品種「ゆきん子舞」の目標収量確保に向けた体系技術の現地実証	田中
コシヒカリの移植25日後の中干しによる品質向上効果の確認	石井、中野

第8 新任普及職員が実施する課題解決活動の課題一覧表

課題名	実施者
新潟次郎の多収穫栽培実証	佐久間

第9 普及指導活動として実施する実証ほ及び普及に関わる主要実証ほ一覧表

1 普及指導センターが普及指導計画に位置付け、実施する実証ほ等

事業名	期 間	対 象	担 当 者	備 考 (内 容)
特殊気象感応体制整備強化事業調査ほ（水稲気応ほ）	R3.4.01 ～10.30	柏崎市春日	佐久間	水稲定期報告（コシヒカリBL）
	R3.4.01 ～10.30		佐久間	水稲定期報告（新之助）
地力保全測定診断事業調査ほ	R3.4.01 ～10.30		石井	地力測定・地温測定
地域課題解決実証ほ	R3.4.01 ～10.30	柏崎市中田	石井	高地力地域での早期中干しによる品質確保（コシヒカリ）
地域課題解決実証ほ	R3.4.01 ～10.30	柏崎市下田尻	田中	多収穫実証（ゆきん子舞）
新技術等導入プロジェクト事業	R3.5.01 ～10.31	柏崎市平井	真貝	マルチを利用した直播えだまめの作期拡大
園芸作物技術情報システム調査ほ	R3.5.01 ～10.31	柏崎市西山町内方	真貝	えだまめ
園芸作物技術情報システム調査ほ	R3.5.01 ～10.31	柏崎市西山町大津	真貝	えだまめ
園芸作物技術情報システム調査ほ	R3.5.01 ～10.31	柏崎市矢田	真貝	えだまめ
園芸作物技術情報システム調査ほ	R3.10.1 ～4.7.31	柏崎市畔屋	児玉	たまねぎ

2 普及指導センターが関わり支援する実証ほ等

実証ほ名	期 間	実施者	担 当 者	内 容
農薬実証ほ	R3.4.01 ～10.30	(社)新潟県植物防疫協会	石井	水稲初中期一発除草剤
農薬実証ほ	R3.4.01 ～10.30	(社)新潟県植物防疫協会	佐久間	水稲初中期一発除草剤
農薬実証ほ	R3.4.01 ～6.30	(社)新潟県植物防疫協会	児玉	たまねぎのべと病防除薬剤
農薬実証ほ	R3.4.01 ～8.31	(社)新潟県植物防疫協会	加藤 革担	ももの穿孔細菌病防除薬剤